

名 称	鹿沼市小中学校再編計画策定に向けた意見交換会（北犬飼地区）について
日 時	令和 6 年 3 月 13 日（水）19 時 00 分～20 時 20 分
場 所	北犬飼中学校 体育館
出席者	参加者：22 名
内容及び 結果等	<p>【質問】</p> <p>①資料 3 ページ、規模別の再編方針の中で、北犬飼地域は義務教育委学校、南押原地区は小中一貫校となっているがこの表現の違いは。</p> <p>②10 年の計画期間かと思うが、計画のスタートは令和 7 年度という認識でよいか。</p> <p>【回答】</p> <p>①義務教育学校・小中一貫校ともに、小中一貫教育の枠組みの中の 1 つ。小中一貫教育は小学校教育から中学校教育への円滑な接続を目的にしており、情報交換や交流を通じ、教職員が目指す子ども像を共有し、9 年間を通じた教育課程を検討・編成していく教育体制となっている。</p> <p>南押原地区の小中一貫校に関して、それぞれ独立している既存の小学校・中学校が協力し、一貫した教育を行う形態となっており、小学校・中学校それぞれに校長先生と教職員組織を有している。</p> <p>北犬飼地区は、中学校校舎の老朽による更新を検討しなければいけない時期。それに伴い、地区内の小中学校を一つに統合する義務教育学校という形を検討している。義務教育学校は 1 つの組織であり、1 人の校長先生のもとに 1 つの教職員組織が置かれ、義務教育 9 年間の学校目標を設定し、一貫した教育課程を編成・実施する形。既存の形態だと小学校を卒業し中学校に進学となるが、義務教育学校は 1 つの組織であるため、中学 1 年生は義務教育学校 7 年生となり、9 年生で卒業ということになる。</p> <p>大きな違いとしては、南押原地区は建物の建て替えを予定しておらず、南押原小と南押原中が隣接していることもあり、既存校舎の活用したうえでの検討を考えている。北犬飼地区は北犬飼中の建物の更新が迫っているということもあり、校舎を新しくする計画になっているため、建て替えに伴って義務教育学校を導入していきたいと考えている。このような違いから、別の考え方を持っているということでご理解いただければと思う。</p> <p>②計画のスタート時期は令和 6 年の 10 月を予定している。保護者や地域の方との意見交換会を 6 月ごろまで実施し、その後、内容をまとめ検討委員会を行い、10 月までに次期計画を決定したいと考えている。計画決定後、速やかに地域説明会の開催をして行ければと思う。</p> <p>年度が変わったタイミングでのスタートではないということでご理解いただければと思う。</p> <p>説明を聞き、人口減少の中でどのようにしていくかということ考えた中で出てきた話かと思う。人口減少により、校舎の維持や教職員の維持など大変だということは理解している。小中一貫校や義務教育学校などの手法はあるかとは思いますが、結局のところ数合わせというか、適正規模にしていこうというところで数の話はあるかと思うが、それだけを先に決めてしまい、決めたらえでどのようにしていくかということの後から考えていくようなスケジュールに見受けられる。</p> <p>鹿沼市の学校教育は、どのように子供の教育を 9 年間で行おうとしているのか。その手法が義務教育学校であればこのようなことができる、小中一貫校であればこのようなことができる、地域とはどのようにかかわっていくことができる。そ</p>

のようなビジョンのようなものができてこない、単純に数だけを減らしていくという議論は難しいと思う。今後も意見交換を進めていき、合意を得て、数を減らすことだけ決めましたとなると少ない人口の地区は大変かと思う。

【質問】

①どのような教育を目指すというビジョンはいつ出されるのか、あるいは出されないのか。

②学校には地域コミュニティ的な視点があるということで、地域にもそのような説明の機会があればと思う。

【回答】

①学校再編は何のために進めるのかということだと思うが、一番は教育の質の向上と教育環境の充実だと考えている。ある程度の人数規模が必要な理由としては、国としても考え方が示されており、鹿沼市もこの考え方を持っている。教育的な視点としての学校の役割は、義務教育の能力を伸ばし、社会的技術の基礎・社会を担うための基本的資質を養うことを目的としている。単に教科の知識や技能を習得させるだけでなく、児童生徒が集団の中で多様な考えに触れ、認め合い、協力し合うことを通じて、思考力や表現力、判断力や問題を解決する能力を育み、社会性や社会規範の意識を身に着けることが重要。そのような教育を行っていくためには、児童生徒数が確保されていることや、人数がいることによって経験年数や専門性、男女比のバランスの取れた教職員の配置ができるということも含め、適正規模を確保するということが重要になってくる。

また、地域コミュニティ的な視点として、学校は教育のためだけの施設ということではなく、地域コミュニティの核も担っている。学校を統合してもその役割は担っていく部分があるため、新たな学校を検討するうえでは、保護者や地域の方たちの声を聞いたうえで進めていかなければいけないと考えている。2つの視点をもって、教育の質の向上と教育環境の充実を図っていくというのが学校再編の基本的な考え方ということになる。

②今回は統合の対象となる保護者の方や、学校運営協議会など、先に学校に身近な方のご意見を聞いて、その後、4月17日から15地区に入っていく、ご意見を聞いたうえで進めていければと考えている。

【質問】

資料2ページ、児童の将来見込み数の変化について、資料1ページの下段に、後期計画は前期計画の進捗状況や児童数の見通しを見極め再検討するとある。10年間の計画の中で、人数の減少数によっては何度も統合するという可能性もあるため、この将来見込みの確度としてはどのようにお考えか。

【回答】

将来見込み数の数値については、国立社会保障・人口研究問題所のデータを活用し、鹿沼市の出生数も含め算出している。令和10年度の数値に関しては、これまでの地区ごとの進学状況などを基に算出。令和15年度の1年生から5年生になる方はまだ生まれていないため、推計値となっている。6年生から中学校3年生は現在の住民登録と進学状況から数値を出している。

【質問】

学童や習い事をしているお子さんについて、学校統合があると通学距離が遠くなってしまう。日中は保護者の方は仕事をしており、祖父母では対応しきれない

となったときに、スクールバスを曜日ごとや時間ごとの運行となると大変かとは思いますが、その点はどうか。

【回答】

統合の対象となった学校に関してはスクールバスを導入する形で考えている。これまでの導入事例では、登校班のような形で集まってもらい、そこからバスに乗車という形になっている。それが難しい場合であれば個人の家の近くからの乗車になってくるかとは思いますが、具体的には統合が決定してから対応していく形になる。地域の実情聞いたうえで運営をしていきたいと考えている。

すでに西小や栗野中などで運行をしているため、そのノウハウなどを活かして実施していければと思う。西小や西中では、小中でバスを共用しており、小学校ではタクシーを利用し、中学校は部活動の時間に合わせてバスを利用するといった対応も行っている。学校の時間などに合わせて柔軟に対応していくためご安心いただければと思う。学童についても併せて検討していかなければいけない課題であるため、しっかりと検討していければと思う。

【質問】

先程説明をしていただいた中で、小規模校の方のアンケートは、大多数が適正規模校になってほしいとのことでしたが、保護者は先が見えないから不安になっている。

気になるのが、北犬飼地区だけが義務教育学校の新設ということになっている。中学校の老朽化に伴っての経緯があるかとは思いますが、実際は義務教育学校の実態が見えてこないため不安な部分がある。北犬飼地区においては、義務教育学校はこのような学校ということをお示ししていただければと思う。スケジュールでは4月から6月の間で地域での説明会が開催されることになっているが、その際は、義務教育学校の実態などをできれば映像などで示していただき、他市の事例や、メリット・デメリットも含めて説明していただければと思う。早い段階で義務教育学校とはこういうものだということをお示しいただければと思う。

【回答】

鹿沼市では義務教育学校を導入していないこともあり、県内に6校ある義務教育学校を研究しているところ。県内では小山市に1校、下野市に1校、那須塩原市に2校、佐野市に2校の計6校となっている。

メリットとしては、小学校から中学校への接続がスムーズにでき、中学校で生活になじめないといった中1のギャップの解消が目的となっている。小学校時の学習で定着しきれなかった内容を中学校で補うことが容易になる。小学生の中学生へのあこがれや、中学生の小さい子への思いやりなどが育まれ、幅広い年齢層の交流による精神的な発達が見込める。

デメリットとしては、小学校高学年時のリーダーシップや自主性を養う機会の減少や、少人数で導入されやすいということもあり、9年間での人間関係の固定化がされやすいといったことがある。デメリットに関しては、学校運営の中である程度対応できる部分があるため、実際の運営の中で解消に努めていければと思う。このあと地域の方を対象とした説明会を行わせていただくが、その際には義務教育学校のより詳細な資料を加えさせていただく。

【質問】

①義務教育学校を想定した場合、犬飼地区に学校が一つということになるかと思うが、地域と学校の関り方は変わってくるのか。

②建設場所がどこになるかで変わってくるかと思うが、小学生全員が徒歩で通

学することになるのか。

③計画通りにスタートしたとして、義務教育学校がスタートするのはいつになるのか。

【回答】

①学校ごとに様々な形で地域が行事等に関わっていることもあり、学校ごとにどのような形で地域に関わっているかを調査したうえで、新しい学校でもしっかりとした形で引き継がなければならない。それが統合準備委員会の役割の一つと捉えている。新しい学校になったから地域との関りがなくなってしまったということがないように統合を進めていきたいと考えている。

②通学の基準があり、中学校は6キロ、小学校は4キロとなっている。統合をした場合はその基準に当てはまらなくてもスクールバスを導入している事例がある。通学距離が遠くなってしまふ方にはスクールバスでの通学支援を行っていききたいと考えている。

③学校の建て替えは長い期間を要する。直近の栗野小の建て替えは、設計から建築まで最終的に5年間かかった。今回の義務教育学校の新設は、設立地をどこにするのかの協議を保護者や地域の方々で行う必要がある。そこから5年間必要ということになる。

仮に、令和6年度中に合意ができ、7年度中に設立地の選定が完了したとしてもそこから5年間必要のため、結果的に7年間要することになる。今の段階から検討をしないと建て替えも進められないと考えている。

【質問】

①犬飼地区が義務教育学校、南押原地区が小中一貫校となっているが、この分け方の違いは。小中一貫校としたほうがメリットのあるように思う。

②北犬飼地区が義務教育学校のモデルケースになるということか。

【回答】

①北犬飼地区は、北犬飼中学校の公舎の更新が決まっていることがあり、校舎を新しくすることに併せて小中学校を統合した義務教育学校を検討している。

南押原地区は校舎を新築することは計画になく、現存の校舎の活用を検討している。南押原地区は小学校と中学校の敷地が隣接しているため、現在の校舎のまま小中一貫教育ができる状態にある。建物の違いが義務教育学校と小中一貫校に分かれている大きな理由。

②鹿沼市内での先進的な取り組みということになる。

【質問】

先ほどの説明の中で義務教育学校の新設は最低でも7年かかるとのことだが、老朽化が進んでいるが7年もつのか。校舎を補修しながら7年使うということか。

【回答】

不具合があれば修繕を行いながら校舎の維持に努めていく。生徒や先生に不利益の生じることがないようにしていきたい。

【質問】

子供たちが各学校でその地域の特色を活かした学習をしている。義務教育学校

	<p>が新設されれば、その学校に愛着が沸くかとは思いますが、住んでいる地域への愛着も大切にしてほしい。そのような地域への愛着を育むような学びや教育も行ってほしい。地域とのつながりは義務教育学校になった際にどのようにつなげていくのか、どのように大切にしていくのか聞きたい。</p> <p>【回答】 統合準備委員会の役割が、今までの学校の様子や地域とのかかわりを踏まえたくらいで検討するもの。義務教育学校を目指すうえで長い期間調整を行っていくことになる。統合までの期間がたくさんあるので、建築をただ待つだけの期間ではなく、今後引き継いでいくための期間としてよく検討していきたいと思う。</p>
	<p>【意見】 これからの教育について、ギガスクールが始まってインターネットでの遠隔教育が増えたり、部活動の問題だったりと様々な問題がある中で、全員が登校して授業を受けなければならないとかということも出てくるかと思う。遠隔化が進めば義務教育学校であっても自分の地域の校舎を活用して授業を受けたりすることもできるかと思うため、この統廃合をマイナスに捉えるべきではないと個人的には思う。そのためには話し合いを進めていかないと、ただただ地域コミュニティが縮小してしまうことになる。</p> <p>【回答】 おっしゃる通りギガスクールも進んできている。今後遠隔での授業も国の方針で出てくるかもしれないが現時点ではわからない。残った校舎については利活用をしていくよう、丁寧に地域の方とも相談しながら進めていきたいと思う。 部活動に関しても、鹿沼市では休日部活動の地域移行ということで検討をしているところ。</p>
	<p>【意見】 これまで上粕尾や西大芦が統廃合になったがその時にもこのような議論は出ていたかと思う。実際に統廃合を経験した方の声や利活用の資料などがあればありがたい。経験したことがないことのため当事者の方々の声を聴かせていただくと考えも深まるのかなと思う。再度このような機会があれば支障のない範囲でお示しいただければと思う。</p> <p>【回答】 次回の参考にさせていただく。</p>
	<p>閉会</p>
<p>配布資料</p>	<p>鹿沼市小中学校再編計画骨子、鹿沼市の小中学校の配置図、アンケート用紙</p>